

來馬塚道 くまづかみち 佛教學者。明治十年十一月二十八日東京生れ、昭和  
 二十九年七月十日歿（八七七一九六四）。號前古庵、簾外。明治二十四年  
 普賢洞京大學生卒。淺草萬隆寺住職。雜誌『佛教』主幹、佛教青年傳道  
 會理事等。また、暹羅國皇太子戴冠式に参列し、インド佛蹟を踏査、歐米社  
 會事業視察等に赴く。戦後後参議院議員となる。普賢洞京大教士。  
 著書に『通俗佛教各宗綱要』（鴻盟社編輯奇編、明治三十二年五月十九  
 日鴻盟社）、『禪十講』（赤松月船共著、昭和五年六月十八日寶文  
 堂書店）等。

